



ひめじ まちづくり 喫茶

日時

6/24 (火)

18:30 ~ 20:30

話題提供 60分・コーヒーブレイク 10分
ディスカッション 50分

参加無料・事前連絡不要

参加ご希望の方は、当日会場までおこしください。
スペースの制約から先着 30 名とさせていただきます。

会場

納屋工房コミュニティスペース

姫路市本町 68 番地 大手前第一ビル 4 階
TEL079-263-7878 <http://nayakobo.com/>

第 18 回

GUEST-SPEAKER

株式会社竹中工務店

岸田 文夫 さん

演題 『生まれ育った町とゆる〜く
関わっていくまちづくり』

私は大阪市の福島区野田という下町に生まれ育ちました。
明治時代に市街化したわが町は、幸運にも空襲で焼けなかったため、
長屋と路地だけでなく、濃密な地域コミュニティも残されました。
この町で育った少年時代の体験が私の都市計画家の原点となっています。
そんな野田の町も、高齢化や防災、商店街の解散、長屋の建替えなど、
環境面で大きな変化を迎えています。
ゼネコンの仕事としては直接関わることはないわが町ですが、
不思議な偶然から、その魅力を発信したり、イベントを企画したり、
ほんの少しだけ、まちづくりに関わってきました。
プロボノともいえない、ゆるい付き合い方について、ご紹介したいと思います。

プロフィール

株式会社竹中工務店 開発計画本部 部長(西日本担当)
1963年大阪市生まれ。1987年大阪大学大学院環境工学専攻修了後、竹中工務店へ入社。開発計画本部から都市計画コンサルタント出向、経営企画室を経て2014年より現職。御堂筋や中之島等での大規模な都市開発に携わるかたわら、NPO法人もうひとつの旅クラブ、三休橋筋愛好会など仕事を離れて大阪の魅力アップのための活動を行っている。



「ひめじまちづくり喫茶」2年目にあたって

人の出会い→刺激→交流→自律的な新しい動き→姫路まちなかの魅力アップ」と言う仮説を立て、その第一歩である新しい人の出会いの場になればという想いから、2013年1月に「ひめじまちづくり喫茶」をスタートし、月1回の開催を続けてきました。ゲストスピーカーには大阪で活動されている方を中心に、箕面、尼崎、小豆島、尾道からもお呼びし、地域の資源に着目した魅力アップ活動や発信活動、人のつながりをベースとした元気づくりなどの事例を学びました。彼らの話には「自律的活動を積み重ねている」「まちを面白がっている」という共通点があったように感じます。また「多分野のメンバーが集まることが大きな力になる」「出会いからつながりが生まれまちが元気になっていく」「記録し発信することも大切」などの実体験に基づくまちづくりのノウハウも得ることができました。さらにはこれまでの12回の場を通じて新しいつながりも生まれています。

2014年1月からは活動2年目に入りました。まちはそう簡単に変わるものではありませんが、私たちの活動がわずかでも変わる方向に寄与していると信じて、また参加された方々からの声に耳を傾け軌道修正をおこないながら活動を継続していきます。

2014年1月 チームひめまち喫茶(小川、篠原、長谷川、平田)

ひめじ
まちづくり
喫茶

次回は7/22(火)に伊丹まちなかバルのコアスタッフであり伊丹市立図書館ことば蔵パークスペースコーディネーターなど幅広く活躍の村上有紀子さん(NPO法人いたみタウンセンター理事長)が、主婦からまちづくり参画へのお話を伺います。